

# 「杏林大学地域交流委員会地域交流活動支援事業」

## 活動報告

総合政策学部

実施団体 北島研究会

研究テーマ 地域の野菜を使った学生の食生活の改善について

指導教員 北島 勉教授

### 1. 実施スケジュール

- 平成 21 年 8 月～9 月: KRL「食と食生活のニーズに関する調査」分析、八王子道の駅取材、
- 平成 21 年 10 月: 宮下町の農家への野菜提供に関する問い合わせ、KRLとシダックスに野菜サラダ提供実施に関する打診、シダックス店長と野菜サラダの中身に関する打ち合わせ実施
- 平成 21 年 11 月: 野菜の買い出し、野菜サラダ提供(11月4日～6日)
- 平成 21 年 12 月 12 日: 「八王子市長とのふれあいトーク」で活動報告
- 平成 22 年 2 月 13 日: 八王子市食育シンポジウムにおいて活動報告

### 2. 事業の内容・成果

八王子キャンパスの食堂の協力を得て、平成 21 年 11 月 4 日～6 日の昼食の時間帯に、八王子産の野菜を使ったサラダを、のべ 1000 人に提供した。

83%が「おいしかった」と回答していた。また、同様のサラダに対して出しても良い金額は、40～50%が 100 円、36～49%が 100 円未満であった。

野菜サラダ一皿の材料費は 35 円であった。

予算使用用途: 八王子道の駅と犬目園芸センター等からの野菜、紙皿、ドレッシングの購入。

### 3. 関係した学生からの感想文

無料サラダ配布は学生が食の偏りをなくすためのきっかけ作りとして行いました。この企画を通して、私自身は毎日サラダを食べるようになりました。さらに、みなさんがアンケートに答えてくれましたが、その中においしかったなどのコメントを書してくれた方もいて、がんばったかいがあったと思いました。みなさんがどう思ったかはわかりませんが、少しでも食の偏りについて、また、野菜不足について考えてもらえたなら無料サラダ配布を行った意味があるのではと思います。協力してくれた方々にもとても感謝の気持ちでいっぱいです。大学でこういったイベントをすることができてたのしかったです！

最初は無料サラダの提供は難しそうだったが、提供できてよかったです。さらにただの野菜ではなく地元の八王子産の野菜を学生達に食べてもらえ、地元の野菜の味を知ってもらえました。これを機会

に野菜をとる習慣が少しでも増えてくれたら良いなと思います。また、農家と学生とのつながりにも結び付けられたらと思います。

今回野菜サラダのイベントをやってみて八王子にはたくさんの野菜があることがわかりました。普段行かない八王子の道の駅や農協に行き価格や種類を調べたりできていい経験ができました。サラダを自分達で盛り付けたり、呼び込みをしたりして楽しく取り組みました。アンケートの結果でおいしかったと言う結果が多くやってよかったなと思った。

今回サラダを無料提供するにあたって北島ゼミは、人数も少ない為とても大変だと感じましたが、杏林の生徒の野菜の意識を変えられたと感じています。しかし、それが出来たのもとても好意的に協力して頂いた食堂の方々のお陰だと感じています。また、この様に出来る事があれば積極的に参加したいと思います。

最初は、野菜を食べてくれるのか、また、成功するのか、少し不安でしたが、みんなが美味しく食べている姿をみて、やってよかったと感じました。自分自身、八王子で作られた野菜が美味しいことを知りました。このイベントで、少しでも野菜を摂ることを増やそうと思ってくれる人がいてくれるといいと思います。

今回無料サラダ配布のイベントには参加することが出来ませんでした。約1000人の人が無料サラダを受け取り大盛況に終わったことを知ってほっとしました。ここに至るまで色々ありましたが、私が印象に残っていることは、道の駅に行き貴重なお話を聞いたことです。そこでは道の駅の野菜の流通ルートやどんな野菜が売れているかなどを知ることが出来ました。また、道の駅内にある食堂で八王子産の新鮮な野菜を使った野菜カレーも食べることが出来八王子産の野菜のおいしさを味わえました。今回のイベントは、学生の野菜離れが挙げられるなか八王子産の野菜に触れる良い機会になったと思います。

今回野菜サラダを無料で配っての感想としては、やっぱり無料ということもあり、多くの方が野菜サラダを食べてくれると予想していたが自分が思っていた以上に人がきたので正直ビックリしました。今回の無料サラダは学生が野菜不足であることを自覚していることもあり、少しでも今回の無料サラダで野菜に対する意識が変わってほしいと感じました。

今回をきっかけに今後学生がしっかりと野菜をとってほしいと感じました。アンケートでも野菜サラダが美味しいと答えてくれたのが9割以上だったので野菜不足は野菜がキライだからではないこともわかった。自宅の人は親に一品野菜物を作ってもらったり、下宿の人は自分で簡単に作ったりして野菜不足を無くしてほしいと感じました。

謝辞

今回のイベントが成功したのもシダックスの仲里忠店長とスタッフのみなさんのおかげです。場所とまた忙しい時間を割いて頂き、本当に有難うございました。